2026.00　Ver.0　　文書番号 IME-0002-00
発行：日本電気硝子株式会社

偏波依存型フリースペース光アイソレーター
ユーザーガイド

（型番：NEGISO-FS***-***-***-****-**）
（＊にはアルファベットや数字が入ります）

偏波依存型フリースペース光アイソレーター

※上記の写真は、各型番に共通する代表的な製品であり、その仕様によっては、実際にご使用いただく製品の形状とは異なることがあります。

このたびは、当社の偏波依存型フリースペース光アイソレーターをお求めいただきまして、誠にありがとうございます。この製品は、レーザーシステムに使用され、レーザー光の戻り光を減衰させるアイソレーターです。

この製品は精密な光学製品であり、使用方法および保管方法などを誤ると故障や怪我の原因になります。

この製品をご使用前に、このユーザーガイドをよくお読みになり、十分に内容をご理解のうえ、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。ご使用の際には必ずこのユーザーガイドを、いつでも参照できる状態にしてください。

なお、このユーザーガイドに記載されていない事項については、当社の設計・製造基準に基づいて対応しております。また、このユーザーガイドの内容に関して将来予告なしに変更することがあります。万が一ご不明な点がある場合は、「8．お問い合わせ窓口」（7 ページに記載がございます）にご連絡ください。

※このユーザーガイドの内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。

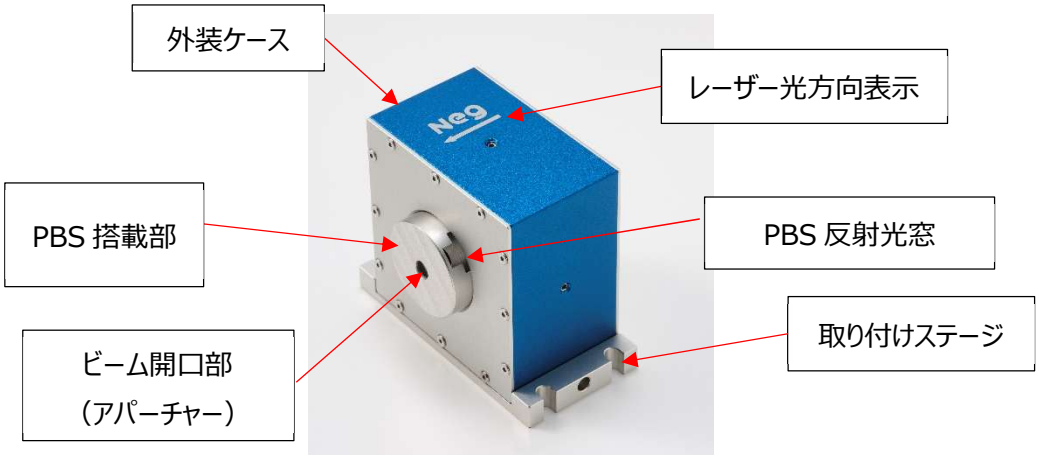
目次

	ページ
１．　製品説明	3
２．安全上のご注意・使用上のご注意	4
３．使用前の準備	5
４．調整・使用時の取扱い	5
５．製品の保管・梱包、輸送方法	6
６．製品の廃棄	6
７．故障、困ったときは	6
８．お問い合わせ窓口	7
９．製品の基本仕様	7
１０．改訂履歴	8

1．製品説明

（1）本製品の各部説明

（製品外観）



偏波依存型フリースペース光アイソレーター

※上記の写真は、一例のため実際にご使用の製品と形状およびサイズ等が異なることがあります。

（2）本製品の特徴

この製品（以下、「本製品」といいます。）は、当社独自の磁気光学ガラスを用いたファラデー素子と永久磁石、偏光ビームスプリッター（PBS）よりなる偏波依存型フリースペース光アイソレーターです。

（3）本製品の用途

①本製品は、レーザーシステム、レーザー加工機、光検査・計測システム、などに使用できます。なお、使用されるレーザー光の波長に合わせて設計されていますので、必ずご使用の波長に適合した型式および仕様の製品をお使いください。

②本製品について、軍事または軍事へ転用される可能性のある用途でのご使用や一般消費者によるご使用は意図しておりませんので、そのようなご使用をお控えください。また、以下に列挙した用途でのご使用を検討される場合は、必ず事前に【お問い合わせ窓口】へご相談ください。なお、事前にご相談のない状況下で生じた損害に対して当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

(a) 原子力制御システム、輸送用機器【鉄道・自動車等の車両・航空（宇宙を含む）・船舶など】、医療機器（心臓ペースメーカー、人工呼吸器など）、安全装置、金融システム、データセンターなどの人の生命、身体、財産に影響を及ぼす可能性のあるシステム・機械・装置での使用など、特に高い信頼性や安全性が要求されるまたは必要とされる用途

(b) その他、上記の用途に準じる高度な信頼性や安全性が要求されるまたは必要とされる用途

2. 安全上のご注意・使用上のご注意

【安全上のご注意（必ずお守りください）】

本製品を正しく安全にご使用いただくために、重要な内容を記載しています。以下の図記号およびその意味をよくご理解のうえ、警告表示の内容をお読みになり、その記載された内容をお守りください。

図記号	意味
⚠危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があり、かつ、その度合いが高いことを示します。
⚠警告	誤った取扱いをすると、人が死亡するまたは重傷を負う可能性があることを示します。
⚠注意	誤った取扱いをすると、人が中等症または軽傷を負う可能性がある、または物的な損害発生の可能性があることを示します。

図記号	意味
🛇	してはいけないことを示す「**禁止**」事項です。
❗	必ず実行していただくことを示す「**強制**」事項です。

⚠危険	
❗	本製品にレーザー光を入射している間は、レーザー光がビーム開口部や PBS 反射光窓から出ています。レーザー光の入射時には、必ずレーザー光用保護メガネを着用してください。
🛇	裸眼はもちろんのこと、たとえレーザー光用保護メガネを装着していても、ビーム開口部やPBS反射光窓を絶対に覗きこまないでください。 レーザー光で目や体の部位が重篤な損傷を受けることがあります。
❗	人や動物などの生体が、ビーム開口部や PBS 反射光窓の延長線上に来ないようにしてください。レーザー光が照射された部位が損傷を受ける可能性があります。

⚠警告	
❗	心臓ペースメーカーなど磁気に敏感な医療機器をお使いの方は、本製品をご使用になる前に必ず医師にご相談ください。

⚠注意	
🚫	本製品の外装ケースネジを外さないでください。永久磁石が露出され、磁性物が強く引き付けられることにより、指等を挟んだり、切創したりする危険があります。また、光学系がずれて、本製品の本来の性能が出なくなる可能性があります。
🚫	本製品が雨水等に濡れる、高温、多湿、結露、凍結などが生じる、または直射日光が当たる環境下では使用しないでください。

３．使用前の準備

⚠注意	
🚫	本製品に落下や強い衝撃など外部からの力を加えないでください。本製品は精密な光学部品であり、衝撃などにより本来の性能が出なくなることがあります。
❗	開梱、ご使用はクリーンな環境下で行ってください。ビーム開口部や PBS 反射光窓から磁性物の破片やごみが付着した場合、性能が出なくなる恐れがあります。
🚫	本製品には強力な永久磁石が使用されています。本製品の近くに磁性物、特に磁気メモリや磁気カードなど磁場の影響を受けるものを置かないでください。

４．調整・使用時の取扱い

⚠注意	
🚫	本製品の分解や改造はしないでください。
❗	PBS 搭載部に力や衝撃が加わらないよう本製品の外装ケースをお持ちください。力や衝撃が加わると光学系がずれて、本製品の本来の性能が出なくなる可能性があります。
❗	本製品の固定や取り外し等に使用する工具は非磁性ステンレス製またはチタン製などの非磁性工具をご使用ください。永久磁石による引き寄せを生じる懸念があります。
❗	本製品にはレーザー光の入射および出射の方向が決められています。本製品の外装ケース上面の矢印方向に従って本製品を設置してください。

レーザー光の波長と光アイソレーターの波長が一致しているかご確認の上、ご利用ください。

５．製品の保管・梱包、輸送方法

⚠注意	
❗	本製品に落下や衝撃などの力が加わらないように取り扱ってください。
❗	輸送中に本製品が梱包内で動かないように、必ず緩衝材等で確実に固定し、隙間が生じないようにしてください。

6．製品の廃棄

⚠注意	
❗	本製品を廃棄する際は、廃棄物専門業者にご相談いただき、法令等に従い、適正に廃棄してください。

7．故障、困ったときは

困ったことや故障の場合、必要に応じ、お問い合わせ窓口にご相談ください。ただし、分解や改造等が施された、またはネジを外された本製品に対しての責任は負いかねますのでご了承ください。

8. お問い合わせ窓口

本製品に関してご不明な点がございましたら、下記の「お問い合わせ先」にご連絡ください。

【お問い合わせ先】（連絡先）

（お電話・FAX でのお問い合わせ）

〒５３２－０００３

大阪府大阪市淀川区宮原４丁目１－１４　住友生命新大阪北ビル

日本電気硝子株式会社　電子部品事業本部　営業部

TEL:０６－６３９９－２７２２　FAX:０６－６３９９－２７３１

土日・祝日・年末年始などの当社休業日・夜間・緊急時には TEL:０７７－５３７－１７００（本社代表）へお掛けください。

（通話内容の確認と応対品質向上のため、録音させていただくことがございます。）

（インターネットからのお問い合わせ・ユーザーガイド

（PC から）お問い合わせフォーム URL ；https://www.neg.co.jp/optical-isolator-userguide/index.html

（スマートフォン／タブレットから）；

・お問い合わせフォームは、当社休業日にいただいたお問い合わせにつきましては、翌営業日以降に順次対応させていただきます。そのため、ご回答までにお時間を頂戴する場合がございます。あらかじめご了承ください。

【お問い合せ窓口におけるお客様の個人情報お取り扱いについて】

・個人情報は当社の「お客様、お取引関係者様等の個人情報に関する基本保護方針」に則り適切に管理いたします。

・当社の個人情報保護方針につきましては、https://www.neg.co.jp/privacy/をご覧ください。
（※URL は変更する場合がございます。当社ホームページにてご確認ください。）

・お客様からの製品に関して提供された情報、各種お問い合わせへの対応に利用させていただきます。また本製品の品質等の向上のための分析に利用させていただく場合がございます。

9. 製品の基本仕様（一例）

各本製品の仕様については製品仕様書等でご確認ください。

種類	フリースペース型
挿入損失（ｄB）　24℃	≦0.2
アイソレーション（ｄB）　24℃	≧30

１０．改訂履歴

初版：2026 年 4 月 15 日

以上